

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	小児慢性特定疾病対策事業		
目的	(1) 対象	小児慢性特定疾病患者（18歳未満の児童を対象）	
	(2) 意図	患児の保護者の医療費負担の軽減及び治療方法の確立を図る。	
事業概要	従来の予算事業から、改正児童福祉法に基づいた医療費助成制度となっている。（平成27年1月より） ・小児慢性特定疾病の医療費については、当該疾病に関する医療保険の給付を除いた額から患者の自己負担額を除いた額を公費負担する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 受給者証の交付件数	目標値		650.0	650.0	650.0	650.0	件
		取組目標値						
	式・定義 小児慢性特定疾病医療費の受給者証交付件数	実績値	644.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	143,602	168,513
うち一般財源 (千円)	37,286	83,945

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

小児慢性特定疾病医療受給者数 H26年度：635人 H27年度：644人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

H27年1月から改正児童福祉法に基づく医療費助成制度となり、助成対象疾病も拡大されたため、受給者数が増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業について、保護者や関係者に十分理解されていない。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報提供が不十分である。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業について、保護者や関係者に情報提供をする。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 小児慢性特定疾病指定医等の研修会において、制度説明をするなど、あらゆる機会を通じて制度の周知に努める。

9. 追加評価（任意記載）

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。